

町長の施政方針

問 観光資源化に向けた取組とあるが、どのような構想をお持ちなのか。

答 航空機に関連した特色ある資源を生かし、ファミリーや航空ファン、教育旅行などをターゲットとし、本町を「飛行機の聖地」として全国に発信できるように進めていく。また、地域活動団体と連携した観光情報や食の提供、町内飲食店と連携した弁当の開発などに取り組みしていきたい。

問 妊娠から産後の子育て期まで継続した支援を開始すること、どのように進めていくのか。しっかりとした人員配置も考えているのか。

答 毎週月曜日午前中に妊婦相談を実施、産後検診を1回補助、産後うつを防ぐため産婦訪問も実施する。新たに赤ちゃん相談日を設ける。人員は、保健師や助産師を予定している。福祉課窓口、保健センターと連携して、ワンストップの子育て支援窓口を設ける。

問 ふるさと寄付金制度、4月より始めるのか。返礼品は決まっているのか。スケジュール、制度設計は。

答 4月より返礼品募集のお知らせを行う。豊山町のPRとなるもの、地場産業の推進につながるものなど、選定委員会で決める。寄付金のおおよそ4割以内でと考えている。7月ごろより始める予定である。

一般会計予算

▼総務費

問 NPOボランティア団体の支援事業 137万7千円の事業内容は。

答 団体活動の活性化を目的に実施する。具体的には、町民の交流会、NPO化に関する相談や助成金に関する助言、情報誌やインターネットなどを通じた情報発信、航空に関する子供向けイベントの事業を予定している。

問 ホームページ運用事業 231万円の説明を。

答 外国語自動翻訳機能を活用し、英語、韓国語、中国語、タガログ語、ポルトガル語、トルコ語の6か国語に対応。

また、スマートフォン対応の機能も持たせる。7月頃までには改修を終えたい。

▼民生費

問 軽度・中等度難聴児補助器購入費等助成事業 8万9千円。どのような制度か。

答 難聴が認められる18歳未満の児童の補聴器購入費の3分の2を補助するもの。

